

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> パスワード: 4345

2頁 故教皇召天祈念ミサにおける大塚司教説教

4頁 故教皇ヨハネ・パウロ2世を偲んで 田中司教

発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区河原町  
三条上ル  
カトリック会館  
FAX  
075-211-4345

点訳版「京都教区時報」(無料)  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。  
TEL・FAX 0794-31-8601

愛をもち自己を与えることは、かなたの理想ではなく、永遠の平和、  
神の平和への道だということに目覚めようではありませんか。

(教皇ヨハネ・パウロ2世の広島における「平和アピール」から)



6  
2005

## 故ヨハネ・パウロ2世教皇召天祈念ミサ

### 大塚司教の説教

京都教区主催の、4月3日に天に召された故教皇ヨハネ・パウロ2世の召天祈念ミサが、4月9日(土)午後3時から、河原町司教座聖堂でとり行われました。カトリックの信徒だけではなく、教皇の対話の姿勢を偲んで、多くの諸宗教、一般の方々が参列しました。聖堂の中に入りきれず、地下のヴィリオンホールにもテレビが置かれ、ミサの様子が映されました。

亘りカトリック教会の最高指導者としての重責を果たされました。教皇としてのモットーはラテン語で『Totus tuus』、「すべてをあなたに。あなたの完全なしもべ」のとおり、教皇はその全

ての前に突き出し、全世界に向かって全身の力を込めて響き渡らせた言葉が、「恐れることはない」という勇気ある言葉でした。そのとおり、冷戦と南北問題、世俗化と経済優先のグローバル化の中にあって、教皇はカトリック教会の普遍的な教えに従い、その確信に満ちた言葉と行動でもつて

信徒たちを励まし、世界に和解と融和を説き続けました。

教皇の足跡をすべて、ここで述べることは不可能ですが、特に教皇の平和への飽くなき努力を忘れてはならないと思います。東西ヨーロッパの合流点ボーランド出身であつたがゆえに戦争の悲惨さと非人間的な極限を体験した教皇は、

イエスのことばの通り、ヨハネ・パウロ2世は、神の選びによつて、1978年10月16日に第264代の教皇に選出され、キリストの代理者として以来26年間に



あり続けました。そのため国や民族、宗教を超えた対話を目指し、平和の使者として積極的に多くの政治リーダーや諸宗教の指導者と会見しました。そして、戦争や暴力に対し、勇気ある反対の声を上げ、平和への力強いアピールを発しがつたがゆえに戦争の悲惨さと非人間的な極限を体験した教皇は、毎年の平和メッセージで訴えらる「平和が可能であり、またそのためには全ての人々が平和のため

生涯を神様に完全にお捧げになりました。

ヨハネ・パウロ2世

が教皇として捧げた最初のミサで、2本の手でしっかりと握りしめた大きな十字架を人々

の前に突き出し、全世界に向かって全身の力を込めて響き渡らせた言葉が、「恐れること

はない」という勇気ある言葉でした。そのとおり、冷戦と南北問題、世俗化と経済優先のグローバル化の中にあって、教皇はカトリック教会の普遍的な教えに従い、その確信に満ちた言葉と行動でもつて信徒たちを励まし、世界に和解と融和を説き続けました。

教皇の足跡をすべて、ここで述べることは不可能ですが、特に教皇の平和への飽くなき努力を忘れてはならないと思います。東西ヨーロッパの合流点ボーランド出身であつたがゆえに戦争の悲惨さと非人間的な極限を体験した教皇は、毎年の平和メッセージで訴えらる「平和が可能であり、またそのためには全ての人々が平和のため



に働くかなければならない」という呼びかけは、ややもすると平和への働きにくじけそうになる人類にとって、まさに天からの声でした。さて、教皇様のお人柄も偲びたいと思います。教皇は81年の訪日前に日本語の特訓をされ、日本のスピーチはすべて日本語でした。教皇のことばは、真理と情熱に満ち、生き生きと人々の心に伝わり、広島での、あの「戦争は人間のしわざです」という平和メッセージも、確信のうちに落ち着き

と説得力のある声で人々に感銘を与えました。

81年に銃弾を受けられた後も、生来の強靭な体力で奇跡的に快復し、世界130カ国に上る国々を訪問されました。教皇の旅の目的は様々でしたが、いろいろなところで苦しみ、戦い、希望をもって生き続けている人々と、自分が共に居る事を物語るものでした。

しかし、92年腫瘍摘出、93年鎖骨骨折、94年大腿骨骨折、96年盲腸の手術をうけました。数年前からは歩行や会話も困難になっておられました。2000年の大聖年の大役を終えたころ、ある新聞での報道ですが、教皇のある友人から退位の意向を問われたときに、教皇は『キリストは十字架から降りなかつた』とお答えになつたそうです。この言葉に私は、教皇は自らも神から与えられた生を生き抜き、神によって選ばれた僕が、神に召されるまで、その命を生き抜くのだという強い決意を感じました。まさに、今日のパウロのことばが私たちの心に響きます。

『私たちは生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のため死ぬのです』。この数ヶ月・数週間の教皇の苦しみは、その最後



### 教皇ヨハネ・パウロ2世の略歴 (本名 カロル・ヴォイティワ)

1920年 ポーランド・ワド

ヴィツチで誕生

1946年 司祭叙階

1948年 神学博士号取得

1958年 司教叙階

1964年 大司教に就任

1967年 枢機卿に親任

第2バチカン公会議において

『現代世界憲章』の起草に貢献

1981年 第264代教皇に選出される。

1981年 日本訪問

2003年 教皇在位25年

2005年4月3日 帰天

を何んでここに集まる私たちがなすべきことは、教皇が呼びかけた世界平和と愛の文明の建設を、全世界の人々と共に受け継ぎ、力強く歩んで行くことだと思います。それでは、教皇が永遠の安息の内に、神様の御許で憩うことができるように祈りましょう。

## 故教皇ヨハネ・パウロ二世を偲んで

京都名誉司教 田中健一



キリストの代理者として約26年間カトリック教会を導かれ、全世界の人々に和解と平和を求め続けられた教皇ヨハネ・パウロ2世の死は、11億人のカトリック者ばかりでなく、世界中の人々に深い悲しみを与えた。4月8日のサンピエトロ広場での葬儀ミサには多くの国のトップ、代表や群衆が参列して、その数は約200万人であつたとマスメディアは報道し

ています。その後、世界各地で追悼ミサが行われ、河原町教会でも4月9日に追悼ミサが行われました。この事からカトリックが世界が千人以上の人蔵が参列して聖堂に入りきれない程いっぱいでした。

今回、教皇ヨハネ・パウロ2世の葬儀は、私が司祭になってから5人目の教皇葬儀でしたが、こんなに大きなものは初めてであります。それは情報技術の発達と教皇ヨハネ・パウロ2世のカリスマ的

若くしてローマ教皇になられた教皇ヨハネ・パウロ2世は、全世界を相手に司牧活動をなさいました。「空飛ぶ教皇」と呼ばれた程、世界中の多くの国を歴訪され、日本にも1981年2月にこられました。この時、京都教区の現役の司教であった私は、東京、広島、長崎と、教皇と行動を共にしました。教皇は羽田空港に第一歩をし

存在と26年に及ぶ長期在位の為だと思いますが、カトリック教会とローマ教皇の存在価値が想像以上に大きくなっているからだとも思います。世界には沢山の宗教団体や国家・民族団体がありますが、これ程大きく取り扱われたものは

ローマ教皇の存在価値が想像以上に大きくなっているからだとも思います。世界には沢山の宗教団体や国家・民族団体がありますが、これ程大きく取り扱われたものは

ローマ教皇の存在価値が想像以上に大きくなっているからだとも思います。世界には沢山の宗教団体や国家・民族団体がありますが、これ程大きく取り扱われたものは

ローマ教皇の存在価値が想像以上に大きくなっているからだとも思います。世界には沢山の宗教団体や国家・民族団体がありますが、これ程大きく取り扱われたものは

ローマ教皇の存在価値が想像以上に大きくなっているからだとも思います。世界には沢山の宗教団体や国家・民族団体がありますが、これ程大きく取り扱われたものは

日の時に「日本の皆さんが平和の理想をいつも心に抱き、人間の生命と尊厳の擁護、そして絶えざる正義の追求を通して、それを守り通す事が出来ますように祈っています。また、精神的な価値が人間を支え、進歩の名のもとにそれが抹消されない、そんな世界の建設を日本の皆さんが目指されるよう祈っています」というメッセージを残されました。私たちはこのメッセージを心に留めて日々努力しなければならないと思います。

また、私は現役の司教時代に1980年から5年毎に4回ローマで教皇と個人接見しました。教皇はいつも京都教区の司祭・修道者数や信者数、教会、教育・福祉施設など、宣教活動について詳しくお尋ねになりました。教皇が日本人の宗教に関心をお持ちでしたので、正月に約7千人の人が初詣する事を申しますと「それは大変結構な事ですが、多くの人は現世の利益を祈るのでしよう」といわれ、多くの日本人が室内安全や商売繁盛、合格祈願などの自分の利益の為に初詣をすることをご存知であるのに驚きました。

教皇ヨハネ・パウロ2世は日本だけでなく、世界の全ての国に

命と尊厳の擁護、そして絶えざる正義の追求を通して、それを守り通す事が出来ますように祈っています。また、精神的な価値が人間を支え、進歩の名のもとにそれが抹消されない、そんな世界の建設を日本の皆さんが目指されるよう祈っています」というメッセージを残されました。私たちはこのメッセージを心に留めて日々努力しなければならないと思います。

田中司教が語るエピソード  
京都教区時報1998年3月号  
(244号)～1999年5月号  
(258号)に連載されました  
記事の中に、教皇訪日のお電話(246号)とか、ローマ訪問の時の教皇様のご様子(251号)などが詳しく語られています。

心をお持ちになり、深い信仰と強い精神力を持って、人権問題や環境問題などの現代世界における諸問題に取り組まれ、常に全世界の人々の和解と平和を訴え続けられました。教皇ヨハネ・パウロ2世が神の御許に召された今、私たちが教皇が目指された事柄の実現に努力しなければならないと思います。

教皇ヨハネ・パウロ2世が主のもとで永遠の安息のうちに憩うことができますように。

## こんなことはシスター

ヌヴェール愛徳修道会

本部修道院

左より Sr.陰山、Sr.末永、Sr.木場田、Sr.森井、Sr.小林(後)、Sr.下田(前)、Sr.三田、Sr.小川、Sr.恵、Sr.鷹取、Sr.田能村、Sr.川合、Sr.真鍋(Sr.二宮、Sr.竹井、Sr.三浦は出張中、ほか3名病気療養中)



ベネディクト会の司祭として叙階されたジャン・バブティスト・ドゥラヴァエンヌ師は、ルイ王朝の華麗な社交界の陰で苦しむ多くの貧しい人々に心を痛め、慈しみ深い御父がこの一人ひとりに、人間として創造されたことへの喜びを、おられたことを、取り返してほしいと望んでおられることがあります。

京都北部に大塚司教様から派遣された2人の姉妹は、多忙の司祭方を助け、信徒の皆さんと協力して、キリストと共に生きる信仰のよろこびをもって「共同宣教司牧」つくりに励み、南部地区のいくつかの教会では、幼い子供たちに、キリストの愛を伝える日曜学校の教師として、信徒の皆さんと共に働く喜びを持っています。

貧困の中に見捨てられた人たち、読み書きさえ出来ないままに放置された子どもたち、治療を受けられないで病苦にあえぐ人々に奉仕するようにとの師の呼びかけに答えた女性たちは、生活を共にして、靈的に深められながら「神の愛の冒険」に入っています。願うようになり、師は1680年、フランスのサンソージュで、ヌヴェール愛徳修道会を創立しました。

現在、ヌヴェール愛徳修道会は、世界16カ国にシスターを派遣しています。私たちの修道院では、教育関係の仕事、看護師として病院での奉仕、H.I.V.患者との連帯、在日外国人や近隣の孤独な人々との関わりを持つなど、主に日本社会の日当たりのよくない場所で懸命に生きる人々と連帯しています。

一方、教会の姉妹の一員として、京都北部に大塚司教様から派遣された2人の姉妹は、多忙の司祭方を助け、信徒の皆さんと協力して、キリストと共に生きる信仰のよろこびをもって「共同宣教司牧」つくりに励み、南部地区のいくつかの教会では、幼い子供たちに、キリストの愛を伝える日曜学校の教師として、信徒の皆さんと共に働く喜びを持っています。

## 養成コース案内



福音センターニュース

## 第25回 結婚講座

人が独りでいるのは良くない

かれに合う助ける者を造ろう(創世記2:18)

神様は人間を「ご自分にかたどって」造られました。相補い合うかかわりを通して人が人となるよう自分に似せて人間を造られたのです。

この結婚講座では教会での結婚式の意味を学び、実習します。また、結婚というかかわりから生じる問題を社会的、心理的、医学的側面から専門家やご夫婦の話を聞き、コミュニケーションの取り方なども体験できるプログラムです。

講座日時 7月9日(土)  
               7月23日(土)  
               8月6日(土) } 午前10時半～午後3時まで

費用 一人 10,000円(昼食付き)

会場 河原町カトリック会館 6階(8月6日のみ8階会議室)

申込締切 6月30日(木)まで

~~~~~ 予告 ~~~~~

## ■ 病院訪問コース I — 安らぎをとどける関わり —

日時 2005年9月2日(金)午後4時～4日(日)午後3時

場所 宝塚・黙想の家(阪急宝塚線 売布駅 下車)

講師 沼野 尚美氏、福音センタースタッフ

費用 20,000円

## 問い合わせ・申込先

郵便番号・住所・氏名・参加コース名をご記入の上、参加費を

郵便振替口座(00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース)へお振込み下さい。

〒604-8855 京都市中京区河原町三条上る カトリック福音センター

Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp



### 誰かがしなければ

わたしたち夫婦は、福音センター主催の「結婚講座」で講師をつとめています。最初にこのお誘いがあったときにはお断りしようと思いました。ふたりとも人前で話をするのが苦手なうえ、結婚生活をお話するというような経験もなかったからです。しかし夫婦でこれについて話し合った結果、これも神様のお導きではないのか、誰かがしないといけないことで、わたしたち夫婦のつたない話でも何かの参考にしてもらえばよいのではないかと考え、お受けしました。

### 毎日の生活から

わたしたちは夫婦として波乱万丈の人生を送ったわけでもなく、ごく平凡な生活をしてきました。そのような話が結婚講座に出席している人たちの参考になるのかどうか、不安がいっぱいのなか、夫婦の体験談や、「子供は親の背中を見て育つ」ことを常に心がけていること、あるいは「子供の前では喧嘩をしない。お互いの悪口を子供に聞かせない」ことを我が家ルールにしているということをお話しました。

「宣教をしよう」と思って宣教する人は少ない。けれど、もし生活のなかに福音が浸透していれば、それがすでに「宣教」となる。あとはそれを伝える「ほんの少しの勇気」があれば…。

宮畠 清己(九条教会)

### 少しの勇気があれば

休憩時間になり、皆さんはわたしたちの話をどう思い、どう感じられたのか、はかりかね思案していたとき、福音センターのスタッフの方から、「よい宣教をされましたね」という声をかけていただきました。その方によると、わたしたちがお話した内容だけでなく、その話をふたりでご紹介したやり方から、わたしたちがお互いに協力して生きているのがよくわかったのだそうです。わたしたちはそのとき初めて、自分たちが「福音宣教」をしたこと気にづきました。少しの勇気とチャレンジ精神で、わたしたちはハードルを越えたような気持ちになりました。さらに、結婚講座での話の内容を、夫婦で色々と相談しているうちに、自分たちの結婚生活の半生を振り返ることができ、一段と夫婦の絆が深まり、貴重な時間をもてました。

福音宣教は、難しく考えなくとも、少しの勇気とチャレンジ精神があれば、誰にでもできる簡単なことではないかと思えるようになりました。自分の信仰を守っていればよいだけの時代は終わったのかもしれません。

| 集会司式者、聖体奉仕者任命<br>(任期は四ヶ月一日から一年間) |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 〔京都南部地区〕                         |                 |
| 河原町                              | 河原町 集会 10名、聖体   |
| 北白川                              | 北白川 集会 4名、聖体    |
| 高野                               | 高野 集会 5名、聖体     |
| 山科                               | 山科 集会 5名、聖体     |
| 衣笠                               | 衣笠 集会 5名、聖体     |
| 宇津                               | 宇津 集会 8名、聖体     |
| 山国                               | 山国 集会 8名、聖体     |
| 小山                               | 小山 集会 6名、聖体     |
| 西陣                               | 西陣 集会 6名、聖体     |
| 山院                               | 山院 集会 7名、聖体     |
| 桂                                | 桂 集会 1名         |
| 九条                               | 九条 集会 1名        |
| 長岡                               | 長岡 集会 10名、聖体    |
| 桂                                | 桂 集会 7名、聖体      |
| 桂                                | 桂 集会 7名、聖体      |
| 丹波                               | 丹波 集会 2名、聖体     |
| 伏見                               | 伏見 集会 2名、聖体     |
| 桃山                               | 桃山 集会 6名、聖体     |
| 宇治                               | 宇治 集会 6名、聖体     |
| 八幡                               | 八幡 集会 5名、聖体     |
| 青谷                               | 青谷 集会 5名、聖体     |
| 田辺                               | 田辺 集会 3名、聖体     |
| 精華                               | 精華 集会 4名、聖体     |
| 〔京都北部〕                           | 〔京都北部〕 集会 2名、聖体 |
| 福知山                              | 福知山 集会 6名、聖体    |
| 綾部                               | 綾部 集会 5名、聖体     |
| 報恩寺                              | 報恩寺 集会 4名、聖体    |
| 東舞鶴                              | 東舞鶴 集会 3名、聖体    |
| 宮津                               | 宮津 集会 8名、聖体     |
| 〔滋賀地区〕                           |                 |
| 峰山                               | 峰山 集会 5名、聖体     |
| 丹後大宮                             | 丹後大宮 集会 5名、聖体   |
| 網野                               | 網野 集会 5名、聖体     |
| 岩瀬                               | 岩瀬 集会 2名、聖体     |
| 大津                               | 大津 集会 3名、聖体     |
| 唐崎                               | 唐崎 集会 3名、聖体     |
| 安曇川                              | 安曇川 集会 3名、聖体    |
| 草津                               | 草津 集会 2名、聖体     |
| 彦根                               | 彦根 集会 2名、聖体     |
| 長浜                               | 長浜 集会 1名、聖体     |
| 〔奈良地区〕                           |                 |
| 富雄                               | 富雄 集会 5名、聖体     |
| 登美ヶ丘                             | 登美ヶ丘 集会 3名、聖体   |
| 奈良                               | 奈良 集会 11名、聖体    |
| 大和郡山                             | 大和郡山 集会 9名、聖体   |
| 御所                               | 御所 集会 4名、聖体     |
| 西大和                              | 西大和 集会 5名、聖体    |
| 大和八木                             | 大和八木 集会 5名、聖体   |
| 〔三重地区〕                           | 〔三重地区〕 集会 3名、聖体 |
| 伊勢                               | 伊勢 集会 5名、聖体     |
| 名張                               | 名張 集会 6名、聖体     |
| 上野                               | 上野 集会 4名、聖体     |
| 久居                               | 久居 集会 3名、聖体     |
| 津                                | 津 集会 5名、聖体      |
| 亀山                               | 亀山 集会 5名、聖体     |
| 鈴鹿                               | 鈴鹿 集会 4名、聖体     |
| 四日市                              | 四日市 集会 3名、聖体    |
| 大和                               | 大和 集会 2名、聖体     |
| 和田                               | 和田 集会 2名、聖体     |
| 大和八木                             | 大和八木 集会 1名、聖体   |
| 大和八木                             | 大和八木 集会 1名、聖体   |

## 集会司式者、聖体奉仕者任命

(任期は四ヶ月一日から一年間)

### 集会司式者の固有の役割と司祭の役割の違い

#### －集会司式者学習会－

2005年の集会司式者学習会は、3月5日(土)午後2時から百数十名の参加で行われました。

(例年この時期に、集会司式者と聖体奉仕者の学習が行われてきましたが、聖体奉仕者の学習は各ブロックの担当司祭に委ねられ、

5時まで河原町教会聖堂において百数十名の参加で行われました。教区全体としては、集会司式者の学習会が行されました)

はじめに大塚司教の講話を一時間ほど聞いた後、奥村豊師から「勧めのことば」の位置づけとその作り方、みことばを味わい、深めるために、「次いで村上透磨師から、「祭儀を行う上で注意点」とみことばから聖体へ」とのお話を聞き、最後に質問に対する答えた終わりました。今年の任命の合計数は、集会司式者が240名で昨年より17名の減少、聖体奉仕者が307名で昨年より22名の増加となりました。

学習会の中から、「集会司式者の固有の役割と司祭の役割の違い」と題された大塚司教の講話の要旨を紹介します。

1. カトリック教会の典礼は、神への奉仕である。救いは個人的なものではなく、本質的に共同体的な救いであり、他者の救いのためには働くとき、自らも救われる。感謝の典礼は「奉仕の秘跡」の典礼である。神への奉仕は、「聖靈の力」によって出来るものである。

2. 信者はすべてキリストの「祭司職」に与るが、司教・司祭・助祭は「奉仕的祭司職」といわれる。その生涯を他人への奉仕のために捧げるからである。

3. 集会祭儀は、司祭が不在のため、主日の集会としてことばの祭儀を行い、聖体を拝領することで集会司式者は共同体から、司式の奉仕を託されたものである。

4. 司式者は、「奉納文を唱え、パンとぶどう酒を聖別する」という司祭の固有の役割ではなく、信徒同士が同じ兄弟に対する愛を示し、礼拝をまとめるものである。

5. ことばの祭儀において司式者は、司祭の固有の役割としての、「信者を導き、心を開かせ、信仰を養うもの」としての「教え、説明し、解説する」説教ではなく、「神のことばを聞き、回心し、生活の中で実行したこと」を、話すものである。

お  
知  
ら  
せ

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読4日(土)

10時ペテロ・バーゲルマン師

河原町会館6階 費用2500円

(昼食代を含む)、持参品聖書・

筆記用具・ノート(お申し込みは

3日前までに)▼聖書講座シリーズ

「マタイ福音書を読む」—神の

国メッセージ・インマヌエルで

ある神—1・2日一場修師、8・

9日市瀬英昭師、15・16日小野十

益師、22・23日伊従信子氏、29・

30日江川憲師

◆信仰教育委員会▼青年のための

黙想会4日(土)~5日(日)宇

治カルメル会黙想の家申込FA

X0774(24)4329宇治

教会

◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体

賛美式・主日のミサ第1日曜日

17時半 河原町教会

地区協議会から

◆聖母教育センター▼子育て

ミリーデーミサ・合同堅信式12日

(日)13時半 野外礼拝センター

▼正義と平和奈良協議会福音と

部落問題を考える「キリスト」と

被差別部落 26日(日)10時半  
大和八木教会

◆滋賀カトリック協議会▼合同堅

信式19日(日)草津教会▼例会26

日(日)彦根教会

◆JOC▼働いている青年の集い。

集会場所 京都働く人の家(九条

教会前)、滋賀働く人の家(大津

教会裏)。連絡先090(820

7)1831

◆京都女子カルメル会修道院▼講

演とミサ「聖体」5日(日)13時

半講演 15時ミサ 講師 中川博

道師 電話075(462)67

64

◆聖ドミニコ女子修道会▼「ロザ

リオと共に祈る会」17日(金)10

時半 当日どなたでもどうぞ。問

合せ075(231)2017

◆京都女子奉獻生活者会▼研修

会12日(日)10時(主日のミサを

含む) 場所 河原町教会ヴィリオ

ンホール・「都の聖母」小聖堂

テーマ 回勅「教会にいのちを与

える聖体」及び使徒的書簡「主よ、

一緒に泊りください」の研修

講師 中川博道師

◆聖母教育センター▼子育て

講座第1回講演会「お母さんそ

なに悩まないで」15日(水)9時

会場 聖母学園幼稚園 講師 山

本容子 事前に電話申込下さい▼

教育関係施設から

問合せ075(643)2320  
九条教会ホール

◆レジオ・マリエ▼19日(日)河

原町会館6階ホール

◆心のともしび 6月番組案内

▼テレビ KBS京都テレビ

△5日の放送内容▽

70歳ではじめたパソコン。今では講師となって高齢者や情報弱者の

方々にその楽しさを教えている、

77歳の女性の若々しい人生を伺う。

6月のテーマ「友情」

▼ラジオ KBS京都ラジオ

◆「一万匹の蟻」運動基金報告

累計 44、115、239円

問合せ075(211)9341  
(4月20日現在)

◆電話・FAX番号の新設・変更

▼福知山教会FAX

新0773(22)2347

▼フィリピン宣教会(西院教会から西陣教会へ)電話075(414)

1)0371

▼青年センター(西院会館から西

陣教会へ)電話075(414)

6239 FAX075(414)

6249

# 天塚司教の

6月のスケジュール

|               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 1日（水）         | 中央協部長会                              |
| 2日（木）         | 中央協常任司教委員会<br>東京カトリック神学院<br>常任司教委員会 |
| 3日（金）         | 中央協SS審議会                            |
| 5日（日）         | 京都北部地区合同堅信式（宮津）14時                  |
| 6日（月）～8日（水）   | 済州教区<br>姜禹一司教米京                     |
| 7日（火）～9日（木）   | 京都教区<br>司祭研修会                       |
| 10日（金）        | 奈良聖書講座19時半                          |
| 11日（土）        | 奈良聖書講座10時                           |
| 12日（日）        | 奈良ファミリー・サ・合同堅信式（野外礼拝センター）13時半       |
| 13日（月）～17日（金） | 定例司教総会（中央協）                         |
| 19日（日）        | 滋賀地区合同堅信式（草津）14時                    |
| 20日（月）        | 司教顧問会・責任役員会10時                      |
| 21日（火）～23日（木） | 福岡教区                                |
| 25日（土）        | 東西靈性交流シンポジウム（花園大学）10時               |
| 26日（日）        | 河原町ミサ（司教靈名）                         |
| 10時           |                                     |

29日（水）教区幼稚園連盟園長会  
10時半  
28日（火）教区幼稚園連盟園長会  
14時  
総会（校長会）

## ◆帰天

パトリック・オダナヒュー師（メリノール宣教会）  
4月2日ニューヨークで帰天されました。80歳でした。大津、伏見、九条、龜山、奈良をはじめ、京都教区のためにいろいろご奉仕してくださいました。永遠の安息のためにお祈り下さい。

## ◆大阪教会管区 部落問題活動センター設立

日本カトリック部落問題委員会が、京都から東京の中央協議会に3月末日移転しました。その場所（河原町会館7階）に、新しく4月1日から大阪教会管区部落問題活動センターが設立されました。

## 世界青年の日の集い

去る3月20日（日）、カトリック河原町教会にて「世界青年の日の集い」が行われました。青

名、計39名もの多くの人がこの集いに参加してくれました。今回は「キリストの過ぎ越し・私たちの過ぎ越し」をテーマにミサを行い、その中で6班に分かれ分かち合いをし、大塚司教様によるカテマージスをしていただきました。班に分かれての分かち合いでは、第1朗読・第2朗読について、一人ひとりが日常生活と朗誦部分を照らし合わせ話し合いをしました。その中で第1朗説では、イザヤの預言の部分が使われました。「主なる神が助けてくださるから、わたしはそれを嘲りとは思わない。わたしは顔を硬い石のようになる。わたしは知っている、わたしのが辱められることはない、わたしの考へたことはない」と。この朗説の部分からいろいろな意見が交されました。ある人は「この朗説部分を読んだら、いじめられた時の事を思い出した。でも、このような考え方があつたからこそ乗り越えられる事が出来た、今はそう思う」、またある人は「自分がどう考へ

## 瀬野暁子

るかで方向が決まる」という事を話してくれました。私たちの班は様々な意見交換をする中で「神さまは『無』である」という事が伝えたかったのではない

か?という意見が出ました。このように、同じ朗説箇所でも一人ひとり意見の相違はあります。が、キリストの過ぎ越しももちろん、私たちにとっての過ぎ越しとは何か?という部分が話し合えたと思います。ミサの後は、大塚司教様を囲んでの交流会が行われました。この交流会を通して、多くの人達と関わる事ができて楽しいひと時が過ごせたと思います。

今回、この「世界青年の日の集い」に参加してくださった皆さん、お手伝いをして頂いたスタッフの皆さん、全ての人に感謝します。本当にありがとうございました。来年もまたこの集いで皆さんに会える事を楽しみにしています。

青年センターあんてな  
青年センターの新しい電話番号  
(西陣青年会館内)

電話 075(414)6239  
FAX 075(414)6249